

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	農林水産部 森との共生推進室
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	大分県県民の森施設(青少年の森、平成森林公園、神角寺展望の丘)	施設種別
			レクリエーション・スポーツ
	所在地	大分市大字廻栖野 ほか	
	設置目的	森林の持つ優れた自然を生かして、保健、休養及びレクリエーションの場を提供し、森林に関する学習活動の促進とその他森林の利用を増進することにより、県民の健康的な生活の確保を図るとともに、森林に関する県民の理解を深める。	
指定管理者	名 称	公益財団法人 森林ネットおおいた	
	代表者名	理事長 大友 進一	
	所在地	大分市花園二丁目6番46号	
指定管理業務の内容		・青少年の森、平成森林公園、神角寺展望の丘で行う学習活動等の指導、施設の提供、森林レクリエーション等に関すること ・施設の維持管理及び修繕に関すること ・施設の利用受付及び案内に関すること ・施設利用の許可に関すること ・施設利用の促進に関すること	
料金制度		使用料	
指定期間		令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)	

2 評価結果

評価項目								
1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組み					配点		評価点	
(1)施設の設置目的の達成			目標		40		31	
①計画に則って施設の管理運営(指定管理業務)が適切に行われたか。 施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。			計画に定める項目を適切に実施する。 目標指標である施設利用件数4,700件、施設利用客数22,600件及び施設使用料収入2,999千円を達成する。		5	15	4	12
②施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。また、複数の施設を一括して管理する場合は、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。			利用者の増加や利便性を高める取組を行う。 より多くの県民に利用してもらえるようイベントを実施する。		5		4	
③施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。			幅広い世代に向けた効果的な広報を行う。		5		4	
【評価の理由】								
計画に定めた項目のうち、令和6年度に予定していた事業を適切に完了した。 ① 指標の令和6年度実績について、施設利用件数4,557件(目標未達成:97%、前年比:112%)、施設利用客数33,341件(目標達成:148%、前年比:104%)、施設使用料収入3,201千円(目標達成:107%、前年比:92%)である。目標未達成の項目はあるが、前年比112%であるため十分評価できる。 ② キャッシュレス決済、Web予約サイトを活用し、利用者の利便性向上を図った(利用件数前年比112%)。 月2回程度県民の森を活用したイベントを実施し、1,411人が参加した。開催場所についてもイベントごとに異なる施設を活用するなどの工夫がみられる。 ③ 幅広い世代に広報するために新聞・SNS・ホームページ・チラシなどの様々な媒体を活用した。								
(2)利用者の満足度			目標		配点		評価点	
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。			施設利用やイベントの際にアンケートを行い、高い満足度を得る。		3	15	3	13
②利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			月に1回アンケート結果を整理し、必要に応じて対策を講じる。		3		2	
③利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			苦情が発生した際は、速やかに対応する。 また、必要に応じて再発防止策を講じる。		3		3	
④利用者への情報提供が十分になされたか。			幅広い世代に向けた情報提供を行う。		3		3	
⑤その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。(①～④以外に評価できる取り組みがある場合のみ)			サービス改善提案事業として森のセラピーイベントを年3回行う。		3		2	
【評価の理由】								
① アンケート回答(5段階評価)の「ほぼ満足」と「満足」の割合が9割以上であり、高い満足度を得た。 ② キャンプサイトの整地を行い、芝生を整備した。 イベントの受付方法を改善した。 ③ 苦情が発生した場合、速やかかつ丁寧に説明を行い、相手の理解を得た。 利用者間で生じた苦情については、張り紙等で注意を促し、再発防止策を講じた。 ④ 幅広い世代に向け、様々な媒体(新聞、チラシ、ホームページ、テレビ、SNS)で情報提供を行った。 ⑤ 「森のセラピー」イベントを年3回開催し、森林散策によって森に親しんでもらった。市内から貸切バスを運行し、延べ75人が参加した。								

(3) 定性的な目標の達成状況		目標	配点		評価点	
① 定性的に定めた目標が達成されているか。(将来ビジョン等で定めた目標など)		新たな利用者獲得のための取組を行う。	10	10	6	6
【評価の理由】						
① ・新規利用者獲得のため、マウンテンバイク走行記録会を後援し、マウンテンバイク愛好家13名が参加した。						
2 効率性の向上等に関する取組み			配点		評価点	
(1) 経費の低減等		目標	30		24	
① 施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。		経費を都度見直し、サービス内容を向上させる。	5	15	4	12
② 主たる管理業務以外(清掃、警備、設備の保守点検等)について、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。		外部委託を行う場合、見積りを複数者から取り、経費が最小限となるよう努める。	5		4	
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。		利用者の要望に応える効果的な事業執行を行う。	5		4	
【評価の理由】						
① 職員の技術でできる管理(小規模剪定、枯損木伐倒、林道の崩土除去)は直営で実施し、除草等の軽作業は地元雇用を活用して管理費を削減している。削減した管理費の一部は施設改善に充て、利用者の利便性を向上させた。						
② ・利用者アンケートで施設がきれいという声が多いため、施設の管理水準は高いと考える。 ・外部委託は複数者から見積りを取っており、経費が最小限になるよう努めている。						
③ 利用者から要望があった項目(キャンプサイト整地)に経費を優先的に執行した。						
(2) 収入の増加		目標	配点		評価点	
① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。		有料施設利用者が増加する取組を行う。	15	15	12	12
【評価の理由】						
① 昨年度効果的と思われた取組(県内私立学校・のつはる少年自然の家にチラシ配布)を継続したが、収入は前年比の92%であった。						
3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組み			配点		評価点	
(1) 施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況		目標	30		28	
① 施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。		繁忙時は外部の労働力を確保し、滞りなく施設運営を行う。	5	15	4	13
② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか。		施設運営に関する内部の研修会を開催し、実務に活かす。	5		4	
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。		市やのつはる少年自然の家と連携した活動を行う。	5		5	
【評価の理由】						
① 参加人数の多いイベント時は森林ネットおおい本部から職員を配備し、滞りなくサービスを提供した。アンケート結果も職員の対応に好意的な意見が多くあり、サービス水準が高いことがうかがえた。						
② 人権研修などの職員の資質向上に係る研修受講に加え、仮払機取扱作業安全衛生教育のような技術的講習を受講することで直営作業が可能になり、施設管理経費の軽減に繋がっている。						
③ 大分市やのつはる少年自然の家と連携し、森林セラピーやキャンプイベントを支援している。また、指定管理者の開催するラベンダー鑑賞会や紅葉ウォーキングに参加してもらっている。						

(2)法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など	目標(①、②のいずれかに×があった場合、評価点は0とする。 ③～⑧については、×1つにつき2点の減点方式を取る。)	配点	評価点	
①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)が遵守されているか。	法令違反を発生させない。	15	○	15
②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。	個人情報漏洩等の事故を発生させない。		○	
③利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。	特定の個人・団体を排除しない。ただし、国や県等からの要請に基づくものは除く。		○	
④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。	モニタリングの結果、不適切な事案が確認されない。		○	
⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	管理者の瑕疵による利用者の事故を発生させない。		○	
⑥防犯や事故等の危機管理体制、防災士の配置など、防災に係る体制が適切であったか。	各種マニュアルを整備し、体制を確保する。		○	
⑦防災に関する研修・訓練が効果的に実施されていたか。	防災訓練を年に1回以上行う。		○	
⑧事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。	事故等発生時には適切な対応を行い、管理責任を問われる事象を発生させない。		○	
【評価の理由】				
① 法令違反を発生させなかった。				
② 文書管理規程、個人情報保護規程、情報公開規程を整備し、個人情報保護に努め、情報漏洩等を発生させなかった。				
③ 審査基準を定めて利用許可を行っており、特定の個人・団体を排除していない。				
④ モニタリングで不適切な取扱いがないことを確認した。				
⑤ 管理者の瑕疵による事故は発生していない。				
⑥ 安全管理マニュアルを整備し、体制を確保している。				
⑦ 消火訓練を全職員で実施した。				
⑧ 事故は発生していない。				

【選定委員の意見】

※中間評価のため対象外

【総合評価】

合計得点(100点満点)	83	評価ランク(A～E)	B
--------------	----	------------	---

【評価の理由】

- ・施設利用者アンケートで「ほぼ満足」と「満足」と回答した利用者の割合がイベント、キャンプ場、自転車のいずれも90%以上で、高い満足度を獲得している。
- ・広大な管理施設の維持管理・安全対策を適切に行い、利用者から「きれいに管理されている」と評価も高く、県民が森林で休養やレクリエーションを楽しむ環境を提供する役割を十分果たしており、施設管理者として適切に管理ができている。
- ・目標指標の一つである施設利用件数については未達成だが、前年比増であるため十分評価できる。
- ・年間を通じて問題となる苦情や事故がなかった。

【今後の対応】

- ・利便性の高さを維持するため、キャッシュレス決済やネット予約を継続する。
- ・高い満足度を維持するために、きめ細やかな管理を継続する。
- ・施設の老朽化が進んでいるため、指定管理では可能な範囲で補修等を行い、利用者の安全を確保する。

【指定管理者評価部会の意見】

【評価】

1. 広大な敷地を適切に管理し、創意工夫して県民がレクリエーションや休養を楽しむ環境整備を図っている点が評価できる。

【意見】

1. イベントアンケート回答者の半数以上が60歳以上であるため、子どもや若年層の利用者増加や新規利用者の増加に向けて、告知メディアの再検討を行ってほしい。また、有料コンテンツの再検討を行ってほしい。
2. エアコン設置がない点を逆手に取り、巨大氷を各コテージに置くなど、一捻りした工夫を凝らして話題づくりを行い、活性化を図ってほしい。

【施設所管課に対する意見】

1. 「あるとつく」と紐づけ利用者にポイントを付与するなど、他部局の所管する企画や制度と連携を図り、利用者数の増加に繋げてほしい。